

平成22年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

期 日 平成22年10月14日(木)午後7時～
会 場 保健福祉センターきらら館 健診室
参加者 45名

No	意 見 ・ 要 望 等	回 答 者	回 答	備考	分 類
1	【文書による事前質問】 ①下古山土地区画整理事業完了に伴う案内板の設置について 行政懇談会で設置されるとのことだったが、何月ごろ、何箇所設置されるのか？	総務部長	①9月の議会で補正予算が決まり、工事の発注済み。年内に完成予定 4箇所設置予定。道路に大きな看板を設置し、両面に区画整理の図を入れ、車道からも歩道からも見えるようにする予定。場所は、4号線から入る広い都市計画道路と文教通りが交差する部分。以下は設置場所 (1) サンライズアパート北 (2) 古山小南門付近 (3) 古山小学童保育室の東 (4) 中華料理「りゅうあん」北		生活基盤
	【文書による事前質問】 ②石橋駅周辺の土地区画事業について 現在の事業進捗率は？ 目標とする完成年次は？	経済建設部長	②現在の進捗状況については事業費ベースで92% 石橋駅北側については、土地の権利者と合意が整ったため、現在移転をしてもらっている。今年度中には、計画されてる道路が完成する予定。完成すれば94%となる。 平成23年まで事業認可をもらっているが、現状況では平成23年の完成は難しい。期間の延長申請をしなければならなくなる。なるべく早くこの事業が完成するように努力していきたい。		生活基盤
	【文書による事前質問】 ③高齢者の肺炎予防対策について 肺炎球菌ワクチン接種に対する補助について、検討のうえ対処されたい。	健康福祉部長	③肺炎は高齢者の死亡原因の第4位になっているので、健康を維持し、活動的な高齢期を過ごすためにも、肺炎予防は重要になる。下野市でも平成23年度から、高齢者の肺炎球菌ワクチン予防接種の助成について検討していく方向で考えている。		保健・福祉

平成22年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

期 日 平成22年10月14日(木)午後7時～
会 場 保健福祉センターきらら館 健診室
参加者 45名

No	意 見 ・ 要 望 等	回 答 者	回 答	備考	分 類
2	【文書による事前質問】 石橋地区の自治会について、一部自治会がないように見える。また栄町は8つの自治会があり、集まる場所や意見集約が大変であると聞いている。このような現状で市長の考えはいかがか。	市民生活部長	【タウントーク当日の回答】 本日届いたため、後日文書にて回答予定 【後日文書回答内容】 栄町全体の世帯数は約1,200世帯あって、下野市内にはこのように戸数が多い自治会はない。 あまり多くなると、「集まる場所や意見集約等が大変である。」「多すぎてかえって活動ができない。」このような弊害はご指摘のとおりである。 栄町自治会としても、問題となっており、栄町からいくつかの分けた自治会を認めるよう要望が出ており、旧石橋町時代から8つの自治区に分け、100世帯から170世帯の戸数編成にし、それぞれ独立した自治会として各自治会活動や行事を行っているのが現状である。 その拠点とする施設については、栄町コミュニティセンターを活用しているが、栄町全体での催し等がある場合、石橋地区コミュニティセンター推進協議会主催の「おみこし広場」などの多くの集まり等の場合には、石橋公民館を活用しているようであり、栄町の各自治会も他地区の自治会同様、活発に活動していると考えている。 また、「大字大松山、花の木、大光寺には自治会がないように見える。」とのことですが、大松山、大光寺については栄町の自治会に属しており、花の木については本町自治会に属している。		市民生活
3	ふれあいプラザいしばしでの出店について、店で売るお弁当を作りたいのだが、たくさんの団体が、スポーツ交流館の調理室を使うこととなり、混乱している。きらら館の調理室は使えず、困っている。他の場所での使用許可もでない。	健康福祉部長	ふれあいプラザは、下野市を挙げての一大イベントである。保健所からの指導を守りながら協力したい。		その他
		経済建設部長	保健所からの指導があり、きらら館で作ったものを運び、販売することはできない。また、ふれあいプラザには、今年も39の団体が出る予定になっている。他の団体も同じ気持ちだと思うので、団体ごとにスペースや時間を均等に区切って使えるように割り振りしている。		

平成22年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

期 日 平成22年10月14日(木)午後7時～
会 場 保健福祉センターきらら館 健診室
参加者 45名

No	意 見 ・ 要 望 等	回 答 者	回 答	備考	分 類
4	国勢調査の調査員をしていて気づいたことであるが、最近アパートも増え、自宅に表札を出していない家もある。下野市に住む住民の義務として、どこに誰が住んでいるのかははっきりさせるため、表札を掲げさせた方がよいのではないか。また、アパートの増加により、自治会に加入していない住民も増えている。そういった住民は、ごみ出しのルールをよく分かっていないのか、ひどいときがある。指導はできないものか。また、夜中に大声を出すなど、マナーがまるでない住民もいる。他の住民に対する負担ばかり増えているように感じる。アパートのオーナーから入居者に対し、ごみの出し方の説明がなされていないのではないか。	総合政策室長	確かに住民について確認が難しい場合もある。国勢調査は重要な調査なので、可能な限り調査はしてほしい。市には住民登録がされているので、やむを得ない場合は、行政情報も使う。表札については、プライバシー保護との関係もあるので、設置義務というのは難しい。自治会に加入していない住民であっても、隣人同士がおつきあいできるまちづくりをしていきたい。 ごみ出しについては、ごみ出しカレンダーを配布して説明している。また、アパートは、そのアパートのオーナーに説明をして入居者に伝えてもらっている。		市民生活
5	石橋地区のごみの収集が今現在は、宇都宮市で期限を決められた形で、認可されているが、この件に関する予算はどうなっているのか。もっと市民には（特に石橋地区）、情報を流してほしい。今後はどうなるのか、現在の進捗状況について聞きたい。	市民生活部長	石橋地区のごみについては、宇都宮市との話合いで、まだ3年間の猶予があり、平成24年度まではビニールとプラスチックを一般ごみと一緒に出して焼却処分することとなっている。 平成25年度以降、4月からビニールとプラスチックの分別がなされるので、石橋地区のビニールとプラスチックのごみは、小山広域の新しい施設で処理される予定。一般ごみは今までどおりに出せる。3年後から変わる石橋地区のごみ分別について、今後、説明会を開く方向で担当者が動いている。近いうちに実施予定である。		生活環境
6	①現在、小学校でも英語の学習が導入されており、近くの幼稚園でも英会話の時間を設けている。下野市の保育園でも積極的に実施してくれないか。	健康福祉部長	①幼稚園と保育園との違いがあり、市では国の方針に従い保育している。幼稚園で実施していることを保育園でもというように簡単にはいかない。しかし、幼保連携が叫ばれる今、将来的には考えていくところもある。国際交流ができる場だけでもつくっていければいいと思う。		教育・文化
	②県道65号線（警察署の所から壬生町に抜けるところ）と、北関東道が交差するところにある横断歩道の歩行者用信号が一方方向にのみあり、もう一方はない。また、信号がすぐ変わってしまい、横断中に歩行者や自転車が危ない。特に登校時に危険を感じる。	市民生活部長	②横断歩道と信号を早急に調べ対応したい。栃木県の公安委員会にも状況を伝える予定。		生活基盤

平成22年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

期 日 平成22年10月14日(木)午後7時～
会 場 保健福祉センターきらら館 健診室
参加者 45名

No	意 見 ・ 要 望 等	回 答 者	回 答	備考	分 類
6 (続)	③下野市のホームページ等を閲覧していると、市民の質問事項に「検討して後日報告」というものが多い。対応後はホームページの方もアップデートしてほしい。	総合政策室長	③今まで、質問に関する回答は質問者にのみ文書で送っていたので、今後はホームページ閲覧をする全員に分かるように応えていきたい。		行財政
7	昨年の末に、下野市の道路整備要望書の決定通知が来たが、回答は淡泊な内容で、自分が要望したことは見送られてしまった。決定する前には、どのような調査をしてどのような形で決定したのか説明してほしい。 また、見送られた自分の要望書はもう効力はないのか。それとも、今後の推進計画に、また生かしてもらえるのか。	経済建設部長	要望が出た場所は、経済建設部内5人で現地を調査している。その道路の利用状況をみて、ランクづけをしている。Aランクがついたものから早急に対応に当たっているのが現状。限られた予算を有効に使うようにしている。 出された要望書はそのまま残り、再度ランク付けをし順次検討をして着手していく。常に優先度をよく見極めてから工事に着手している。		生活基盤
8	9月の定例議会の一般質問の中で、「いきいきタウントーク」を年2回行っていたものを出席者の数が少ないとか、出席者が偏っているということで、年1回にし、その代わり、ランチトークを行っていききたいとの意向があったが、平日のランチトークに参加できる人ばかりではないと思う。必要があれば、1回にせず、現状のままでいいし、テーマを決めて、市民と対話できる場を設けられないか。一方的に発信するのではなく、互いに意見を述べ合えるタウントークにしてほしい。	市長	今までは、前期と後期、各地で行っていたが、出席者が減少傾向にある状態。タウントークに出席していながら、なかなか自分の意見を述べるできない人もいるので、みんなの前で話すのではなく、お昼ご飯を一緒に食べながらフランクに話せる場として「ランチトーク」はどうかと考えた。ランチトークでは、市長の考えは言えても、各部局長はいないので、後日検討後回答するようになってしまう。したがって、現状のようなタウントークも必要であると考えている。 テーマを決めてトークをするというのも、今後検討していきたいと思う。また、地域からの要請があれば、行って、市民の声を実際聞きたい。身近なところで話しをしたいと考えている。		行財政
9	市内の学童保育を有効に活用してほしいための提案事項 ①ファミリーサポートセンターをもっと知ってもらえるように学童保育に用紙を置くなどしてほしい。 公民館を使って活動しているサークルの方々にも学童保育に自由に入って施設を利用してもらいたい。	健康福祉部長	①ファミリーサポートセンターは今、来年6月1日の開設を目指して準備段階。スポットで、石橋地区の学童保育にあずけられる子どもがいるようだが、本来学童保育にスポットはあり得ない。だが、スポットとしてあずける場合は、ファミリーサポートセンターを利用できるようにしていきたい。現時点では現状維持となるが、全ての学童保育の平準化を図って学童保育を運営していきたい。		保健・福祉
	②短大や大学で、教職を目指している人を、ボランティア人材として活用できるようにしてほしい。	教育長	②現時点では、短大・大学で教職を志している方に大学側と協定を結んで、小学校9校、スマイル教室に入って、子どもたちと交流する場を設けている。（2年目）学生と子どもたちの交流は互いによい刺激となっている。		保健・福祉

平成22年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

期 日 平成22年10月14日(木)午後7時～
会 場 保健福祉センターきらら館 健診室
参加者 45名

No	意 見 ・ 要 望 等	回 答 者	回 答	備考	分 類
10	市民の歌、下野音頭など、市民である自覚を強め、市民同士の絆を深めるものをつくってほしい。そして、スポーツ大会や、市民が集う場で歌うのはどうか。	市長	市民が共有できる歌や、下野音頭、下野体操など、あればよいと思う。 合併直後は、互いの町の歌があり、なかなか着手できなかったが、今後はつくっていったらいいと思う。声を合わせることが心を合わせることとなり、気持ちが一つになれるであろう。後期の総合計画の中で前向きに考えていきたい。		教育・文化

平成22年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

日 時 平成22年10月15日(金)午後7時～
会 場 南河内公民館 ホール
参加者 52名

No	意 見 ・ 要 望 等	回 答 者	回 答	備考	分 類
1	三王山の北にふれあいプラザがあるが、今後どのようにする予定か？現状は残土を置く場所になってしまっているようだが・・・	市長	自然林を有効に活用しながら、調整池や古墳とうまくマッチさせて、山林公園などで活かせることができないかと、調整している。 残土は区画整理のための一時的な残土退避所として現状使用している。		施設
2	①住民の方の声をどのように吸い上げてどのように行政に反映しようとしているか、市長の方針は？	市長	①住民の皆様のご意見をいただくために本タウントークは開催している。また市長を含め5～6人で食事を一緒にしながら話をするランチトークも行っている。 さらに奇数月には定例記者会見を開き、このような近況報告を行っている。ホームページ等でも発表しているため、その中でもご意見をいただければと思う。		行財政
	②議員は市民の代表なので、もっとも市民の声を聞くべきと思うが、議員の活動に関してはどのように考えているか？	市長	②議会と市長は二代表制であり、お互いがそれぞれの政策を用いて、よりよい政策を切磋琢磨して展開するように現在進んでいると思っている。議員からは、質問に関しても様々な分野でいただいている。このように議会は粛々といろいろな論戦をしながら、下野市がよいほうへ進むようともに切磋琢磨している。		行財政
	③ICTに関して、まだまだ遅れていると思うが、いかに市の行政に取り組んでいって改革していくか、方針は？	市長	③まだまだ下野市は十分ではないが、合併当初より他市町村と比較すると非常にICTは進んでいたかと思う。1人1人メールアドレスを持ち、1人1人から市長あてに様々な報告が上がっている。現時点では重要な案件に関してはまだ印鑑決裁を行っているが、中には電子決裁のものもある。各課の全員が、出勤すれば各自のPCでスケジュールとメールを確認し、業務にあたっている。		行財政
	④電子看板も進めているようだが、市民1人1人に情報を提供するためであれば、人が集まるスーパー等に設置すべきではないか？	市長	④電子看板については設置の台数が決まっており、まずは3庁舎と温浴施設3館に設置した。今後、JRの3駅にも設置する予定である。今後できるだけ公共の場で、人が多く集まる場所に電子看板を設置するという方向で進めたい。		行財政

平成22年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

日 時 平成22年10月15日(金)午後7時～
会 場 南河内公民館 ホール
参加者 52名

No	意 見 ・ 要 望 等	回 答 者	回 答	備考	分 類
2 (続)	⑤eラーニングによる全職員の情報セキュリティ研修の実施と記者発表されているが、とても大事なことなので職員にしっかり身に着くように進めてほしい。職員1人1人が能力を向上させ、そして組織の能力も向上させてほしいと思う。そうすることで市民に帰ってくるので、市の職員の方の考え方を行政改革の中で変えていただきたい。	市長	⑤eラーニングとは別に守秘義務に関してはしっかりと全体研修を行っている。また行政改革の中で、職員の定数は50%補充ということでやっている。その中で手が足りない部分はICTをうまく活用したり、効率性を上げたりが必要になっているので、スキルアップを図るためにも研修等を進めていき、市民の皆様へよりよいサービスを提供したいと思っている。		行財政
3	①新庁舎の件で、27年度末に建設予定とのことだが、それまでのスケジュール等を教えていただきたい。また10月末に新庁舎に関するアンケート調査を行うとのことだが、具体的にどのような内容のアンケートか？	総合政策室長	①概要の基本構想は既に策定が終わっており、本年度においては具体的な基本計画策定を進めている。予定場所である自治匠大駅西側の笹原地区は市街化調整区域なので、都市計画法・農地法等の許可が必要となるため、関係各機関との協議を進める必要がある。こういった調整を22年度・23年度に行い、24年度に用地買収を進める予定である。建築については25年度・26年度で粗造成工事を行い、庁舎の建築自体は26年度・27年度で進めていきたいと思っている。外構工事も含めて27年度の末に庁舎を開庁したいと考えている。 アンケート調査であるが、新庁舎は市民の皆様のご意見を十分に聞いたうえで造っていききたいということで、現在の庁舎について皆様がどのようにお考えか、たとえば現在庁舎を利用しているうえで困った点など、また将来どのような庁舎を望まれるのか、このようなことを調査していきたいと思っている。		行財政
	②いろいろな団体がいろいろなイベントを行うが、市内の施設では条件が良くないという場合は、近隣市町の会場を借りることがあると思う。それにかかる費用を一部でもいいので市のほうで援助するということを検討していただけないか。	教育長	②いろいろな活動費ということで教育委員会のほうでもっているもので、できるだけ協力し合いながらやっていければと思っている。		教育・文化
4	庁舎の建設について提案。議場だが、議員が議場を使用するのは不定期的な回数であるため、であれば市民ホールのようなものを造って、その市民ホールが議場にもなるというようなものにできないか？	総合政策室長	これから基本計画の策定に入る。その際にこのようなご意見をたくさんいただきたいと思う。今後検討して進めていきたい。		行財政
5	国勢調査の一因として作業を行った。個人情報保護法の壁の下で調査員の足を頼りに対応をするというのは限界を感じた。現状のままだと調査の正確性が問われてしまう。	総合政策室長	国勢調査について、今後の改善策について、ぜひこのような意見をいただき、栃木県とも円滑に進める方法を模索していきたいと思っている。		行財政

平成22年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

日 時 平成22年10月15日(金)午後7時～
会 場 南河内公民館 ホール
参加者 52名

No	意 見 ・ 要 望 等	回 答 者	回 答	備考	分 類
6	①とある小学校の廊下に飾ってある絵が、色が飛んでしまいひどい状態であった。このようなものを飾っているのは、生徒の感性を磨く学校というところなので、よくないと思う。併せて美術や芸術に関する施設の充実もお考えいただきたい。 グリムの館に関して、来客数が非常に少なく感じた。このグリムの館を人が集まる場所とできないか？	教育長	①近く校長会等の会議で、子どもたちがいいものに接することができるような環境作りに取り組むよう提言していきたいと思っている。 グリムの館については、看板を立てたりHPを充実させる等努力をしているが、大きく向上していないのが現状である。昨年より冬の夜のイルミネーションを始めたが、民間からアイデアをいただき進めたものである。このように今後どんな形で市民の皆様にご利用いただけるか、市民の財産にするためにどのようにするかどんどん意見をいただければと思う。		教育・文化
	②来客数が少ないのは、一つに移動手段の問題があるかと思う。	市長	②公共交通に関しては、市民生活課においてデマンド交通についてさまざまな部分で議論している。これからの公共交通をもう一度考えながら、便利に利用いただけるような公共交通システムを考えていきたいと思っている。		生活環境
7	①市役所の税務課に税金の還付の申請のために行ったら、税務課ではできない、ということで栃木税務署へ行くように言われた。栃木税務署にいったら、市の仕事なので市の税務課に行くように、と言われ再度市の税務課へ行った。このようなことが今後ないよう、人事異動等はあると思うが、課の中に1人でもいいので、なんでも対応できるようなプロフェッショナルな人材を置いてほしい。	総務部長	①各課での業務プロフェッショナルに関して、新人等全体を把握していない者もいるので、教育を徹底していきたいと思う。		行財政
	②下野市で24時間みてくれる緊急指定病院をつくってほしい。	市長	②緊急医療に関しては、自治医大を含め相談しながら医療機関が連携をとれるように調整させていただき、地元に安心してもらえるような体制をできるだけつくっていききたい。		保健・福祉
	③田川と武名瀬川沿いが、昨年までははきちんと草刈りをされていたが、今年は草が伸び放題である。散歩する人が多い場所なので、きちんと草刈り等管理をお願いしたい。	経済建設部次長	③田川及び武名瀬川の堤防は、県の栃木土木事務所で管理をしており、市では田川サイクリングロードと河川公園を管理している。これまでは業者委託ということで専門の業者に委託していたが、今年からやり方を変え、国からの予算をいただき緊急雇用枠で2名の方を雇い、その方に現場で除草をしていただいている。費用的にはかなり削減しているが、専門の業者ではないため、精度の差はあるかと思う。ご連絡いただければさらに対応をしていきたいと思う。		生活環境

平成22年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

日 時 平成22年10月15日(金)午後7時～
会 場 南河内公民館 ホール
参加者 52名

No	意 見 ・ 要 望 等	回 答 者	回 答	備考	分 類
8	第二中学校の校舎外に大きな時計があるが、長・短針がなく壊れた状態である。修理してほしいと依頼したところ、修理する予算がないため、文字盤を撤去するということで話がまとまってしまった、とのこと。その他、小学校でも修理したほうがいいと思うような箇所があるが、やはり市にお金がないのでできないという回答だ、とのこと。このような部分にお金がかかけられない、という下野市の財政がどれだけ窮しているのかを教えてください。	教育長	現状、たくさんの改善依頼が多く寄せられている。その中で、できるだけ多くの要望に対応できるように、順位づけを行って、国から受けている補助等限りある財政の中で対応している。 時計の修理に関しては、調整してもすぐに時間が遅れてしまうという状況である。そのため根本的に代替することになると大がかりなものになるとのことである。校庭と校舎の間に時計を設置したので、このような経過を踏まえて時計を外すという処置になった。		教育・文化
9	①自治医大の駅で、外から駅構内へ入るときはエスカレータがあるが、駅から外へ出るときは階段しかない。お困りの方がいるので、市の施設ではないが改善をお願いしたい。	経済建設部次長	①自治医大駅は東口に階段の横に上り専用のエスカレータを設置しているが、必要に応じて下りでも使用できるとのこと、その際は駅員に声をかけていただきたい。エレベータに関してはJRと協議しているところである。設計の段階に入っている。来年度より国からの補助金をもらい、整備を進める予定。		生活基盤
	②祇園小学校の北側にお墓があるが、その北側に雑草がひどい場所がある。何度かその改善を市に依頼したが、持ち主に電話をするという対応で終わってしまった。持ち主の方はそのまま3・4年放置している。自治体からも何とか対応をお願いできないか。	市民生活部長	②地主が不在の場合は管理が行き届かないことが多くある。市としては地主に管理をお願いすることは何度もしているが、再度現地を確認し対応する。		生活環境

平成22年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

日 時 平成22年10月16日(土)午前10時～
会 場 国分寺公民館 大ホール
参加者 41名

No	意 見 ・ 要 望 等	回 答 者	回 答	備考	分 類
1	①市政懇談会タウントークへの出席者が少なく感じる。多くの人に参加できるよう、今後の開催の時間帯を検討してほしい。	市長	①タイミングの問題なので、動員数の検討は難しい。今までタウントークは、前期、後期の年2回の開催だったが、今回より、各地域ごとに年1回とし、その代わりに、ランチトークとし、5～10名の小グループでお昼を食べながら意見交換をしている。あえて動員をかけず、直近の話しをしたい・聴きたいという人に集まっていたいている。		行財政
	②地域振興の問題は、雇用拡大にあり、生活基盤の確立が必要である。下石橋工業団地の元雪印跡への工場の誘致のための施策・計画・構想を説明してほしい。	市長	②景気が悪いため、撤退する企業が出てくると思うが、なんとか留まってもらうための政策を検討中である。この時期にも、拡大生産に動いている企業があるので、市内の雇用の拡大に努めていただくように考えている。		産業
	③下野新聞によると、栃木県内の学校・病院等の耐震修復工事はワースト5と聞いている。下野市の病院・公民館等は補修の進捗状況はどうなっているか？個人住宅物は昭和30年以前か？またその耐震補修等の進捗状況は？	教育次長	③学校施設は、安全・安心な施設として耐震化を進めており、また、防犯防災の避難場所としても耐震対策をとっている。 昨年末現在、14の県内市中、ナンバー1の耐震化率で、平成24年度までに耐震化が必要な学校に関しては、修復工事を完了したい。その後、避難場所である学校の体育館や、耐震が必要な公民館なども耐震化修復を計っていきたい。		生活基盤
		経済建設部次長	③民間の住宅耐震化は、阪神淡路大震災を契機に、公共施設・民間住宅ともに、国・県・市が耐震化率を上げるはたらきをしている。下野市では、建築物耐震改修促進計画を策定し、平成20年度のデータでは、民間住宅の耐震化率は、85.4%だったが、平成27年度までに95%まであげようと進めている。今まで広報への情報が少なかったため、年間数件程度の実施状況だった。今後は、広報等への情報にも力を入れていきたい。 具体的な施策としては、耐震診断・耐震改修計画の策定、住宅改修の補助を実施している。また、今まで耐震化計画を策定しないと診断だけでは補助が出なかったものでも、県・国との協議の結果、診断と耐震化計画を切り分けて制度的に利用しやすいようなものにして耐震化を進めていきたい。		
	④道路補修工事について、私道は関与しないとしているが、救いの手はないのか？	経済建設部次長	④平成18年に下野市道路認定要綱が策定され、市道として認定する場合の基準が載っている。気になる案件があれば、市の建設課・維持グループに連絡をいただければ、柔軟に対応したい。		生活基盤

平成22年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

日 時 平成22年10月16日(土)午前10時～
会 場 国分寺公民館 大ホール
参加者 41名

No	意 見 ・ 要 望 等	回 答 者	回 答	備考	分 類
1 (続)	⑤学級クラスの数人の体制について、将来的な考 え方は？	教育長	⑤国の法制度では、1クラス40名までとなっている。下野市 の平均は、小学校は27～28名。中学校は、県の措置で35名学 級となっている。文部科学省の方向性として、35名（小学校 1・2年は30名）体制を、8年計画で進めているので、今後の 国・国会の方向性を受け止めて、適正規模の学級編成を検討 する。		教育・文化
	⑥下野市民運動会（石橋地区）は、結局雨天順延 になったが、花火が鳴ったので錯綜した。このよ うな時に、屋外拡声器でなんとかならないか？	市長	⑥屋外拡声器は、市内全域に設置されている。今回のタウン トークは市内全域にお知らせしたが、地区ごとのお知らせも 可能なので、有効活用を考えている。		生活基盤
2	行政に対する関心度が薄くなっていると感じて いる。例を挙げると次のとおり。 ・市議会選挙の投票率の低さ。 ・自治会の脱退が目立つ。 ・癌検診の受診希望者への情報展開や対応の仕 方。 ・健康診断に関する資料案内が高齢福祉課、健康 増進課と別々の課から重複して届く。 ・ボランティアの窓口である生涯学習課の役割に ついての疑問 以上、市民の目線に立って行政を行ってほし い。	市長	システムの部分的な部分と、3町合併後の連携不足が原因だと思 う。自治会の意見が政策の柱になるので、自治会長さん等が いろいろな地域の要望をもっていらっしゃっているので、協 働の体制で実施しているが、つまずきがあるのだと思う。 自治会の脱退が多いことは困る話であり、連絡をしたいが つながらないなどの支障が出る。 重複した通知が届くことは、縦だけではなく、横の組織の 連携不足であり、反省点である。 健康診断の件は、広報などの媒体を使いながら、知ってい ただく体制をつくろうと考えているが、認識の甘さがご迷惑 をかけている状況をつくり上げているので、職員のスキルの 低さを再認識、再教育をし、また通達文などを熟知した上 で、市民の便宜にはかれるよう努める。		行財政
3	①仁良川区画整理事業は、最近、変化が見られな い。また、保留地などを加工して財源に充ててい くと思うが、保留地の売り上げ状況はどうなって いるのか？そして、今後の計画は？	経済建設部次長	①仁良川の区画整理は平成8年から始まっているが、進捗状 況の遅れのため、昨年度より事業の見直しをしている。事業 費を縮小して、早く区画整理事業を完了させるよう検討して いる。来週より、地元の皆様に事業変更案を説明する予定 今後の見通しとしては、地元の協議を進めて、来年度、事 業計画の法手続きを行い、概ね10年くらいで完成させたい。 保留地については、進捗状況がよくないので、それほど大 きな売り上げになっていない。		生活基盤
	②国分寺地区には3つの小学校があるが、国分寺 小においては、一部の近隣住民の騒音の苦情によ り、鼓笛隊、吹奏楽が廃止された。教育は平等で なければならず、西小・東小同様に、吹奏楽部を 復活してほしい。	教育長	②国分寺小に近い国分寺中の吹奏楽は熱心であり、市民の声 が強くなれば、いつでも再開できるようになると思う。 学校に指導者が居ない場合は、ボランティアなどに依頼する こともできるので、校長と相談する。		教育・文化

平成22年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

日 時 平成22年10月16日(土)午前10時～
会 場 国分寺公民館 大ホール
参加者 41名

No	意 見 ・ 要 望 等	回 答 者	回 答	備考	分 類
4	障害者・高齢者からの意見であるが、車道から歩道に上がる段差が高く登れない。また、歩道の側溝蓋の穴が大きいため、杖や傘、ハイヒールの底が入るので困る。	経済建設部次長	段差は、市民の要望があれば対応する。 側溝の蓋は、現在では細溝タイプの規格となっているので、ご要望があれば、建設課にご連絡いただきたい。		生活基盤
5	選挙の投票所である国分寺小学校だが、校庭が改修されたためか、北門が開いていなかった。 広報に情報が載っておらず困った。	総務部長	広報に記載するように指導する。		行財政
6	①既にデータ放送が開始していることを今知った。どこに「データ放送配信中」の情報が書いているのか？また、「見てください」までの順序が伝わっていない。情報連絡が機能していないように感じる。	総合政策室長	①PRは、広報・ホームページで提供しているが、来年、全デジタル化になる前に、今後、使い方を含め、情報展開の方策を考えている。		行財政
	②前述の質問での疑問 企業撤退を留める要請しているとのことだが、その施策として、税金を使うのか？もし、税金を使って留めるのならば、新規で会社を誘致する方向で考えてほしい。	市長	②雇用の拡大を重視しており、在来の工場と話をしており、今後は、いかに雇用体制をつくるか、生むか、定着性をよくするかを検討している。		産業
7	柴北の環境保全会に加入を求めたが加入できず、また、付き合いがうまくいかない。	農政課長	柴地区の環境保全会に、お話しがあったことを伝える。 市のはたらきかけもあり、環境保全会をつくった。農家は高齢化が進んでいるので、市としても一緒になって農地保全のために、緑・農地・水・環境を守るべく始まった事業である。地域で自主活動を実施してほしいという趣旨である。		その他
8	データ放送について 「市内・団体グループ」、「収録方法」とは？	総合政策室長	多くの団体に利用してほしいと、各団体から情報をいただいて、活動内容の要点を絞って、その文字情報を流していく。 広報は、1か月単位でしか流せないなので、データ放送であれば1時間後に地域に情報を流せるので、いろいろな活動に活用してほしい。		行財政
9	二宮街道から小山市に抜ける道路において、道幅が狭く、今後、様々な危険性があるので、道路整備の計画を教えてほしい。	経済建設部次長	小山下野線は県道のため、県の栃木土木が管理している。市としても、県に対し、逐時整備要望をしている。下野小山間道路整備推進協議会をつくって活動しており、来月、県に対し、本件も要望することになっている。都市計画決定した道路であるが、地権者に反対された経緯があり、進展が図れない。引き続き、地権者等に協力要請していく予定。		生活基盤

平成22年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

日 時 平成22年10月16日(土)午前10時～
会 場 国分寺公民館 大ホール
参加者 41名

No	意 見 ・ 要 望 等	回 答 者	回 答	備考	分 類
10	①ゆうゆう館に警備員が立っているのとお客様が入りづらいとの声が出ている。きらら館、ゆうゆう館、ふれあい館は赤字と言われているのに、なぜ、警備員を配置しているのか？	市長	①ゆうゆう館は、以前、トラブルが有った。シルバーの方に運営をお願いしており、協議した結果、トラブルを押さえるのが不可能とのことで、利用者の安全を守るために、警備員を配置するしかなかった。各館でも問題が起こらないように対策を考えたい。		施設
		健康福祉部長	①国から緊急雇用対策としての補助がおりたので、来年3月までこの対応をし、来年度からの対応を再検討するのでご理解いただきたい。		
	②防犯灯の設置はいつ頃か？	市民生活部長	②防犯灯は、各自治会からの要望をいただき、工事の発注の作業中。工事業者の入札が決まり次第、冬の暗くなる前に工事に入りたい。		生活環境
11	①データ放送で議会放映の予定はあるか？	総合政策室長	①データ放送は文字放送なので、議会放映は大変なボリュームになり、現状、難しい。今後の議会の考え方を相談してみる。		行財政
	②新庁舎建設の構想について	総合政策室長	②新庁舎は、現状、基本計画策定に入っている。今後、細部の検討に入る。そして、約2,000人のアンケート調査を行う。 また、来庁者の方より意見を聞き、まとまった時点で、最終的には、パブリックコメントとして、市民のご意見を伺うようにする。		行財政